



西郷小だより

第2号 令和4年5月30日

文責：校長 延沢 教之

地域の人たちがやさしく声をかけてくれた

～3・4年なめこ植菌体験～



4月26日、3・4年生がなめこの植菌体験を行いました。杉島里やまの会のみなさん、市農林課のみなさんのご協力により、16年前から続いている活動です。

3年生は初めての経験なので、初めはこわごわ打っていたり力の加減が分からなかったりしていましたが、だんだん上手に打てるようになりました。4年生は昨年も経験しているだけあって、どんどん打って

いきました。

子どもたちの感想を紹介します。「なめこを育てるとき、木は何でもいいと思っていたけれど、ブナ、トチノキ、クルミ、シデとかじゃないと育たないことが分かりました。」「地域の人たちは、『手を打たないように気を付けてね。』と声をかけてくれて、とても優しい人たちだなあと思いました。」「打っているとき、たまに菌の種駒を落とす時がありました。ぼくは力が強すぎたとわかって、少し弱めたら、すっと丸太の穴に菌の種駒がうまく入りました。」地域の皆さまのおかげで、豊かな体験活動を行うことができました。ありがとうございました。

快適な学習環境が整いました ～PTA早朝作業～

4月23日、朝の6時からPTA早朝作業が行われました。校舎北側の雪囲いはずし、サッカーゴール設置、のびのび広場のネット張り、グラウンド北側側溝の泥上げなど多岐にわたり環境を整備していただきました。

1, 2, 3年生の保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。



子どもたちに元気をもらえ

～地域の方々による読み聞かせ～



地域の方による読み聞かせは、新型コロナの影響により、一昨年、昨年と行っていませんでした。しかし、子どもたちは地域の方々と関わることでより豊かに学ぶことができる、また子どもの多様な読書活動につなげたいとの思いから読み聞かせを復活させました。西郷地域全体から募集したところ、予想を上回る10名の方から申し込みがありました。「子どもたちに読み聞かせをすることで、こち

らが元気をもらえるから。」と応募したわけをおっしゃってくださる方もいて、地域の方々も読み聞かせをすることを待ちわびていたことが分かり感激しました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

これからも距離を縮めていきたい

～1年生となかよし会～

5月13日、1年生となかよし会が行われました。最初に、1年生一人一人が自分の好きなものを言いながら自己紹介をしました。次に、たてわり班ごとに学校に関係のあるクイズラリーをして楽しみました。クイズの答えを考えると、1年生に「答えは何番だと思う？」とやさしく声をかける上級生の姿が見られました。



1年生は、「ウォークラリーでクイズに答えることができて楽しかった。」この会を企画した運営委員会の6年生は、「1年生が楽しそうにしていたのでよかつた。これからも、もっと一緒に遊んで距離を縮めることができたらいい。」と感想を述べてくれました。



今年度のキーワードである「かかわり」をとおして豊かな心を育む姿が見られた会になりました。

歯を食いしばり、目を見開きがんばる姿に感動

～校内陸上記録会～



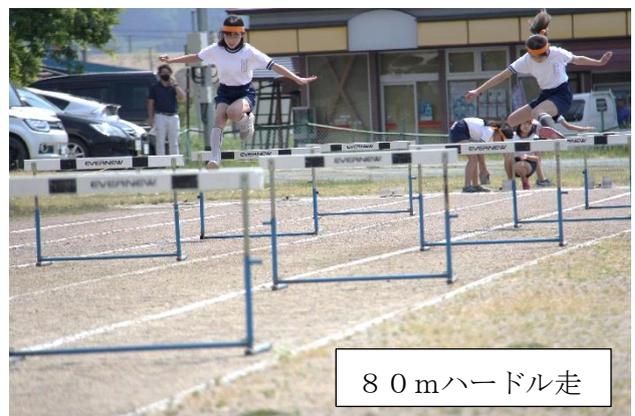
100m走



1000m走



走り高跳び



80mハードル走



走り幅跳び



1～4年生が応援してくれました。

5月19日、5・6年生の校内陸上記録会が行われました。今年度も残念ながら市の大会は中止となってしまいましたが、この日に向かっていつもと変わらず練習を重ねてきました。

本番の競技では、歯を食いしばり、目を見開いてひたむきにがんばる子どもたちの姿に感動しました。応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

今日の陸上記録会で学んだことは、自分の走りをする事です。人とは比べず、自分の記録に自信が付きました。

また、友達にもしっかりと、「がんばってたね。」と優しく声をかけてあげることが大切なんだということを学びました。

六年生になり、一つ一つのことが最後になっていきます。だからこそ一つ一つのことを大事にしていねいにしたいと思いました。

六年 児童